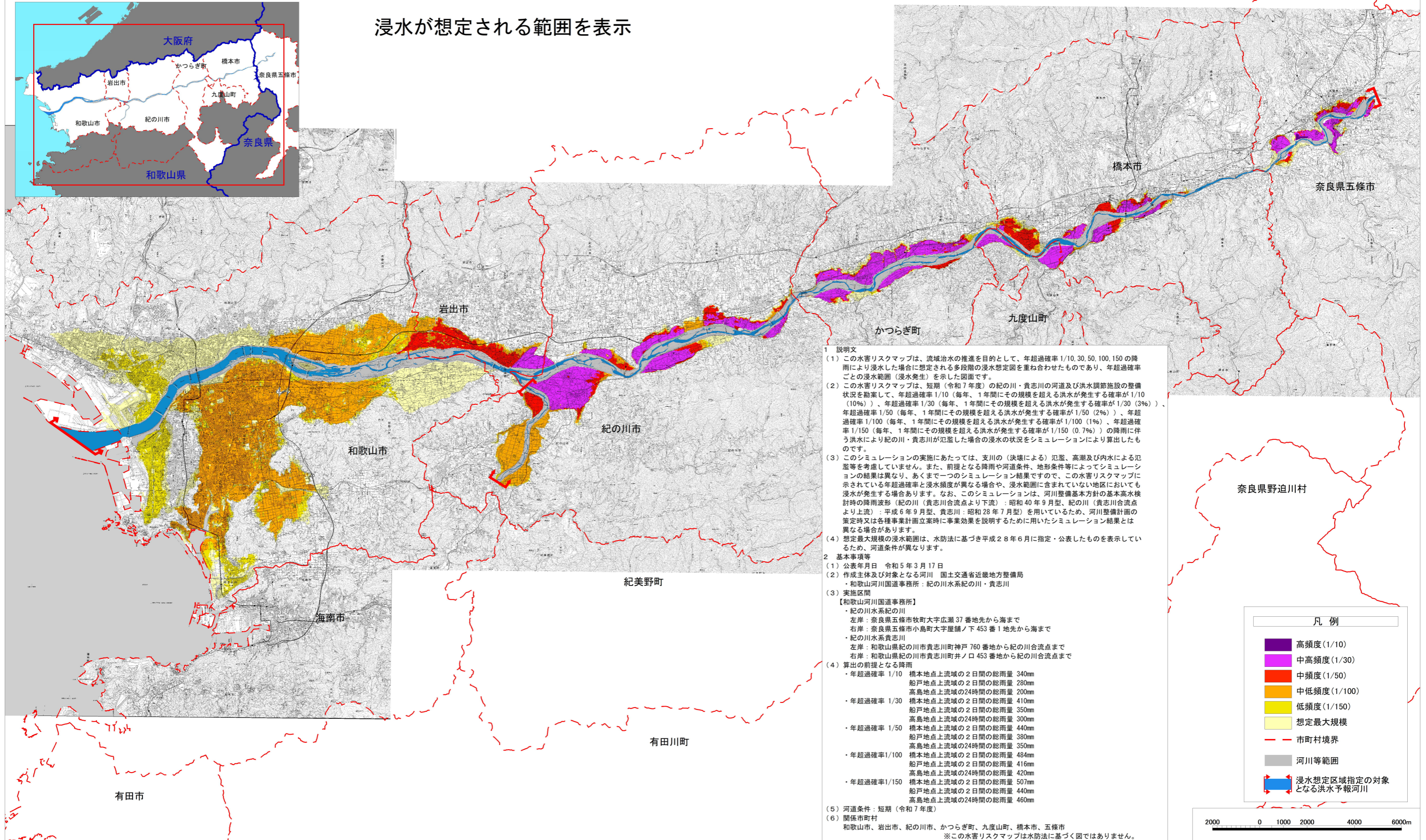
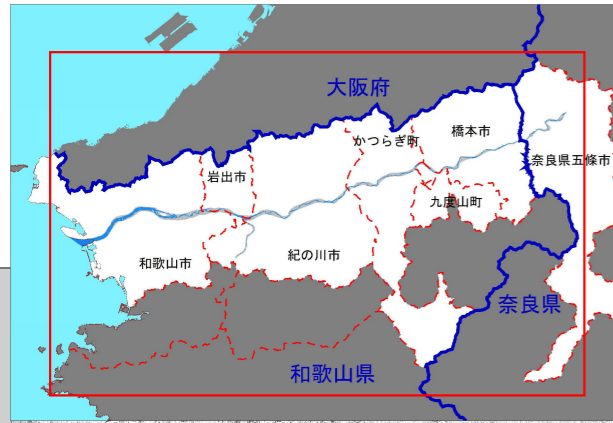


# 紀の川水系紀の川・貴志川 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ【短期河道】



浸水が想定される範囲を表示



- 1 説明文
- この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率 1/10, 30, 50, 100, 150 の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。
  - この水害リスクマップは、短期（令和 7 年度）の紀の川・貴志川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率 1/10（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/10（10%））、年超過確率 1/30（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/30（3%））、年超過確率 1/50（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/50（2%））、年超過確率 1/100（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/100（1%））、年超過確率 1/150（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/150（0.7%））の降雨に伴う洪水により紀の川・貴志川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
  - このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検計時の降雨波形（紀の川（貴志川合流点より下流）：昭和 40 年 9 月型、紀の川（貴志川合流点より上流）：平成 6 年 9 月型、貴志川：昭和 28 年 7 月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
  - 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成 28 年 6 月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
- 2 基本事項等
- 公表年月日 令和 5 年 3 月 17 日
  - 作成主体及び対象となる河川 国土交通省近畿地方整備局  
・和歌山河川国道事務所：紀の川水系紀の川・貴志川
  - 実施区間  
【和歌山河川国道事務所】  
・紀の川水系紀の川  
左岸：奈良県五條市牧町大字広瀬 37 番地先から海まで  
右岸：奈良県五條市小島町大字屋敷ノ下 453 番 1 地先から海まで  
・紀の川水系貴志川  
左岸：和歌山県紀の川市貴志川町神戸 760 番地から紀の川合流点まで  
右岸：和歌山県紀の川市貴志川町井ノ口 453 番地から紀の川合流点まで
  - 算出の前提となる降雨  
・年超過確率 1/10 橋本地点上流域の 2 日間の総雨量 340mm  
船戸地点上流域の 2 日間の総雨量 280mm  
高島地点上流域の 24 時間の総雨量 200mm  
・年超過確率 1/30 橋本地点上流域の 2 日間の総雨量 410mm  
船戸地点上流域の 2 日間の総雨量 350mm  
高島地点上流域の 24 時間の総雨量 300mm  
・年超過確率 1/50 橋本地点上流域の 2 日間の総雨量 440mm  
船戸地点上流域の 2 日間の総雨量 380mm  
高島地点上流域の 24 時間の総雨量 350mm  
・年超過確率 1/100 橋本地点上流域の 2 日間の総雨量 484mm  
船戸地点上流域の 2 日間の総雨量 416mm  
高島地点上流域の 24 時間の総雨量 420mm  
・年超過確率 1/150 橋本地点上流域の 2 日間の総雨量 507mm  
船戸地点上流域の 2 日間の総雨量 440mm  
高島地点上流域の 24 時間の総雨量 460mm
  - 河道条件：短期（令和 7 年度）
  - 関係市町村  
和歌山県、岩出市、紀の川市、かつらぎ町、九度山町、橋本市、五條市  
※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

